

みずほCustomer Desk Report 2023/02/02 号 (As of 2023/02/01)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	129.94
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	130.12	1.0861	141.18	1.2305	0.7049
SYD-NY High	130.41	1.1002	141.83	1.2395	0.7145
SYD-NY Low	128.55	1.0853	140.90	1.2275	0.7038
NY 5:00 PM	128.93	1.0991	141.70	1.2375	0.7137

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,092.96	6.92	日本2年債	▲0.0200%	0.0000%
NASDAQ	11,816.32	231.77	日本10年債	0.4800%	▲0.0100%
S&P	4,119.21	42.61	米国2年債	4.0981%	▲0.1061%
日経平均	27,346.88	19.77	米国5年債	3.5009%	▲0.1172%
TOPIX	1,972.23	▲ 3.04	米国10年債	3.4157%	▲0.0930%
シカゴ日経先物	27,455.00	▲ 70.00	独10年債	2.2940%	0.0155%
ロンドンFT	7,761.11	▲ 10.59	英10年債	3.3025%	▲0.0270%
DAX	15,180.74	52.47	豪10年債	3.5670%	0.0380%
ハンセン指数	22,072.18	229.85	USDJPY 1M Vol	12.10%	▲0.91%
上海総合	3,284.92	29.25	USDJPY 3M Vol	13.13%	▲0.52%
NY金	1,942.80	▲ 2.50	USDJPY 6M Vol	12.02%	▲0.29%
WTI	76.41	▲ 2.46	USDJPY 1M 25RR	▲1.09%	Yen Call Over
CRB指数	271.80	▲ 6.29	EURJPY 3M Vol	12.70%	0.51%
ドルインデックス	101.22	▲ 0.88	EURJPY 6M Vol	11.96%	▲0.13%

東京	東京時間のドル円は130.12レベルでオープン。仲値にかけてドル売り優勢となり、129.85まで下落。その後はFOMC前の持ち高調整もあってか、クロス円も買われる流れに、ドル円も130.32まで上昇。値幅47銭と様子見ムードで推移し、130.27レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、130.27レベルでオープン。立ち上がり130.41まで上昇する場面もあったが、FOMCへの警戒感からか一般的なドル安基調に押され結局下落。一時129.67まで売られ129.85レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は130円台前半でスタート。FOMC前で持ち高調整の売り買いが交錯する中、一時130.41まで上昇するが、その後米長期金利の低下を眺めながらドル売りが強まり、129.85レベルでNYオープン。朝方は米1月ADP雇用統計が予想を下回ったことからドル売りで反応し、129.30近辺まで下押し。その後、米12月JOLTS求人件数が予想を上回ると米賃金インフレの懸念が再燃し、ドルが買われ129.70近辺まで反発するも、米ISM製造業景況指数が予想を下回る中、すぐ売りに転じ129.19まで下落。注目のFOMCでは予想通り25bpの利上げが伝わり、発表直後に米長期金利が3.5%台に一時回復する動きとともに129.87まで上昇する場面もあったが、パウエルFRB議長の記者会見で「ディスインフレーションのプロセスが始まった」、「過度に引き締めを行うインセンティブはない」と述べており、予想ほど効率的な姿勢を示さなかったことから株高・債券高・ドル安の流れが強まり、128.55まで急落。パウエル議長がほかに「予想通りの今年の利下げは想定せず」等の効率的な発言も伝わったが、市場は反応せず、その後も上値重く推移。終盤は売りが一巡し、小幅反発後、128.93レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.0860近辺でのレンジトレードでスタートするが、欧州時間では米金利低下にサポートされ、1.09台手前までじりじりと上昇。早朝にはユーロ圏1月消費者物価指数(速報値)が発表され、予想を下回るも市場は反応は限定的だった。小幅反落後、1.0892レベルでNYオープン。朝方は一連の米経済指標発表を受けてドル売りが進行し、1.09台前半まで上昇。その後、パウエル議長の記者会見でドル売りが加速し1.1002をつけ、2022年4月以来の1.1台回復となる。終盤に小幅反落し、1.0991レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 尾身・多川

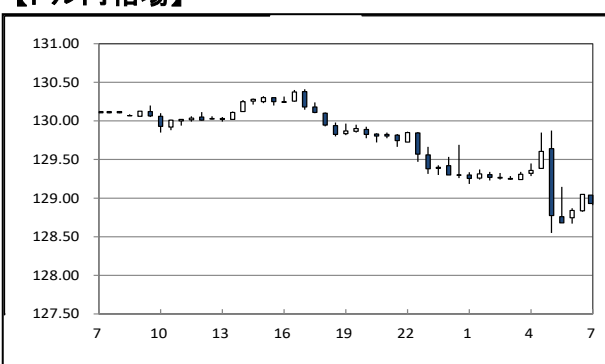
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月1日	19:00	欧 失業率	12月 6.6%	6.5%
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・速報	1月 -0.4%/8.5%	0.1%/8.9%
	19:00	欧 コアCPI(前年比)・速報	1月 5.2%	5.1%
	22:15	米 ADP雇用統計	1月 106k	180k
2月2日	00:00	米 ISM製造業景況指数	1月 47.4	48.0
	04:00	米 FOMC政策金利	1-Feb 4.50-4.75%	4.50-4.75%
	04:30	米 パウエルFRB議長 講演	「過度に引き締めを行うインセンティブはない」	

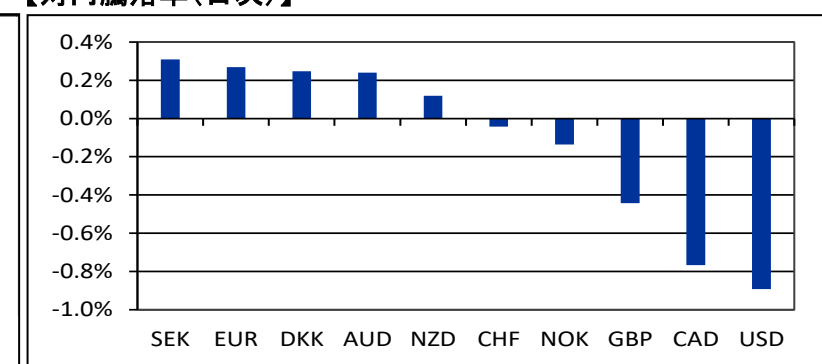
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月2日	22:15	欧 ECB主要政策金利	2-Feb 3.0%	2.5%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	28-Jan 195k	186k
2月3日	00:00	米 製造業受注(前月比)	12月 2.3%	-1.8%
	00:00	米 製造業受注(除輸送)	12月 0.2%	-0.8%
	00:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	12月 5.6%	5.6%
	00:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	12月 -0.1%	-0.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	127.00-130.00	1.0900-1.1200	140.00-143.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場では、ドル売りが優勢となりドル/円は一時128円半ば付近まで下落した。東京時間は130円台前半で推移していたが、欧州時間に入るとドル/円は129円台後半まで下落した。NY時間に入り、米1月ADP雇用統計の結果が予想比下振れすると、ドル売りが更に加速し129円台前半まで下値を拡大した。また、注目のFOMCでは予想通り政策金利が0.25%引き上げられた。声明文にて利上げの継続が適切とされたことで、一時ドルが買い戻される場面も見られドル/円も129円台後半まで反発したが、パウエルFRB議長の会見にてディスインフレーションが始まったとの発言が見られたことなどから、再びドル売りが優勢となり128円半ば付近まで反落した。

本日もドル/円は上値重く推移すると予想している。昨晚のFOMCを受けてドル売りが強まっている。本日はBOEとECBの政策決定会合が予定されており、いずれも0.5%の政策金利引き上げが予想されている。昨晚のFOMCでは利上げ幅が0.25%に引き下げられており、本日予定の金融政策会合にて予想通りの政策金利引き上げとなれば、米国と英国並びに欧州の金融政策差がドル売りの流れをサポートするのではないかと見ている。